

2022年1月19日実施

愛知医科大学〈化学〉

硫酸銅(II)五水和物についての出題

【メビオ 愛知医科大学直前テキスト】より

試験前日に
演習！

1/18実施

実験 1

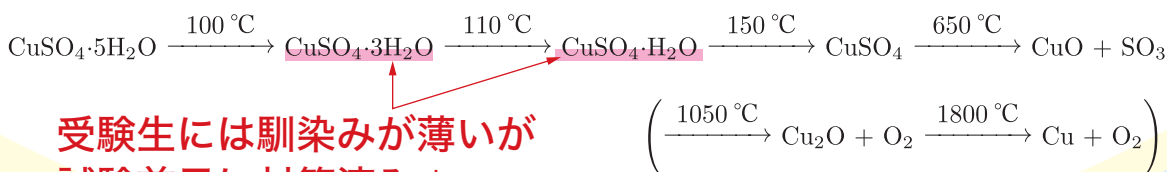
50.0 g の硫酸銅(II)五水和物の結晶を電気炉で加熱すると、約 102 °C において化合物 A が 42.8 g 生じた。

引き続き加熱すると、約 113 °C では 35.6g の化合物 B が生じた後、約 150 °C では 32.0g の化合物 C が生じた。さらに加熱すると、16.0 g の黒色粉末の化合物 D に変化し、最終的に 14.4 g の赤色粉末の化合物 E になった。

本試験でも同じテーマ(加熱したときの生成物)がそのまま問われた

[章末参考資料]

(3) 硫酸銅(II)五水和物：(青) 色の結晶。加熱すると結晶水を失い、無水物 ((白) 色，粉末)になる。更に高温で加熱すると酸化銅(II)((黒) 色)になる。硫酸銅無水和物は微量の水の検出に使う。



受験生には馴染みが薄い
試験前日に対策済み！

●聞き取りにより作成しています

コメント

メビオ生は試験前日の直前授業でしっかり演習。

$\text{CuSO}_4 \cdot 3\text{H}_2\text{O}$ や $\text{CuSO}_4 \cdot \text{H}_2\text{O}$ は受験生に馴染みのない化合物で、直前の授業で扱ったことが得点に大きく貢献したことでしょう！

試験後の生徒からも「直前授業でやったままでした！」と喜びの声が聞かれました。